



薬剤師の災害支援



1995年の阪神淡路大震災以来、被災地での災害救護活動が重要視されるようになりました。今回のピュアタウン通信では災害時における薬剤師の役割と活動についてご紹介したいと思います。

● 医師・看護師などの医療従事者のサポート

お薬の専門家として医薬品の適切な管理を担い、被災者の治療をスムーズに行えるようにします。

● 支援物資の薬・備蓄薬の仕分け

災害発生時から数日後に支援物資が届く中、被災者の方へ必要な医薬品をスムーズに届けるために、医療用医薬品と一般用医薬品の仕分けを行います。薬剤師の専門的な知識が役に立ちます。

● 避難所における服薬指導・健康管理

避難所では食事が不規則になるため、食事に左右される薬には注意が必要です。このようは服薬に関する相談のほか、避難生活におけるエコノミークラス症候群などの予防の説明や健康に関する相談も行っています。

● 避難場所の衛生管理

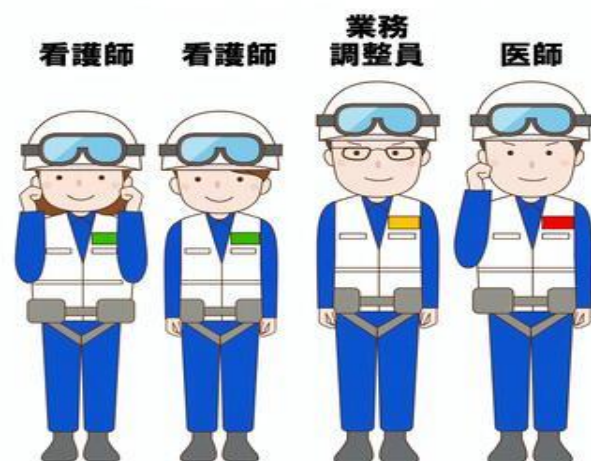
薬剤師は環境衛生管理も専門です。普段は学校で行っている環境衛生管理を被災地で行います。例えば、避難所の水質・空気・換気の管理、トイレの環境設備や嘔吐物の消毒などにも携わっています。（衛生管理が悪いと感染症が蔓延することもあります）

● お薬手帳の活用

災害時など最低限確保できる医薬品での治療の際、医療チームにとってお薬手帳はとても重要な情報源となります。「血圧の白いお薬」と言っても沢山あるため特定することはできません。お薬手帳にはアレルギーや副作用の有無、検査値等を書き込んでいただき、いざという時のために自分自身のお守りとして活用していただけたらと思います！！

紙のお薬手帳だけでなく、スマートフォンなどで管理できる電子お薬手帳もあるので、利用されたい方はスタッフがご案内いたします。調剤予約もできとても便利に使っていただけます★

災害派遣医療チーム
Disaster Medical Assistance Team



ピュアタウン薬局公式 LINE（配信専用）のご紹介

よろしければこちらの QR コードから **お友達登録** をお願いいたします。
ピュアタウン薬局からのお知らせや情報など配信しております。

